

令和5年第2回当別町議会定例会一般質問通告一覧

令和5年6月定例会

順序	議員名	要 旨
1 番	佐々木 常子 (一問一答方式)	<p>1 子育て支援について 【質問のねらい】 当別町の現状を踏まえ国の政策に基づいて行われていくと思うが、町民の声を聞き適切な支援を検討することは重要である。 【質問項目】 (1) 子育て世代包括支援センターを謳う町として、円滑な子育て支援施策を実施する上で、福祉や子育てを担うゆとりについて、窓口の表示等を明確にわかりやすくする必要があると思うが、伺う。 (2) 産前産後等の相談支援業務をより良いものとするため、担当職員の研修などが有効と考えるが、伺う。 (3) 結婚新生活支援事業について、町でも取り入れることが有効と考えるが、伺う。</p> <p>2 障がい者支援について 【質問のねらい】 一人も取り残さない社会を目指していくために、支援を見直していくことは大切なことである。 【質問項目】 (1) オムツ支援の対象者の枠を広げていくことが必要と考えるが、伺う。 (2) 町の職員採用について、身体障がい者のみではなく精神障がい者も採用していくことが大切だと思うが、伺う。</p> <p>3 带状疱疹について 【質問のねらい】 带状疱疹で苦しむ方が多くいるが、ワクチン接種について周知や補助を行う必要があるのではないかと。 【質問項目】 (1) 带状疱疹ワクチンについて周知が必要ではないかと、伺う。 (2) 带状疱疹ワクチンは高額であるため、補助が必要ではないかと、伺う。</p> <p>4 ゴミ収集について 【質問のねらい】 町内会に数か所、ゴミステーションが設置されているが、あまりに遠い場合は個別収集も考えるべきではないかと。 【質問項目】 (1) ゴミ収集場所があまりに遠い場合、個別収集も考える必要があると思うが、伺う。 (2) 町内会に管理を任せているとのことだが、必要な場合は個別収集もやむを得ないとの認識を町が示すべきではないかと、伺う。</p>

2番	芳形 幸夫 (一問一答方式)	<p>1 水田活用交付金について 【質問のねらい】 水田活用交付金にともなう農家の現況や状況をとらえ今後の町の農業政策を質す。 【質問項目】 (1) 当別町の昨年来の畑地化の申請状況・水田継続状況・離農者の有無などの状況を押さえているか伺う。 (2) 正確・迅速な水田活用交付金関連情報の営農家への周知と当別町が今後どのような農業政策を考えて行おうとしているのか伺う。</p> <p>2 5類移行後のコロナ対応について 【質問のねらい】 5類移行後における当別町のコロナ対応と医療機関への支援を要望するが見解を質す。 【質問項目】 (1) 町民の命の安心・安全を確保してくれる医療機関に町独自の支援と道や国に診療報酬引き上げを要望するべきと考えるが、伺う。 (2) 物価高騰の中で、10月以降はコロナ治療薬や入院医療費が自己負担となり、受診控えにつながることに懸念される。道や国に公費負担の継続を求めるべきと考えるが、町としてどのような対策を考えているか伺う。</p> <p>3 改定マイナンバー法について 【質問のねらい】 マイナンバー制度は、他分野の個人情報をもつづけるものであり、マイナンバーカードについては誤入力・誤交付などが多発し問題点が多い、現行保険証の継続と問題点改善について質す。 【質問項目】 (1) マイナ保険証に変わると、本人が出向いて申請手続きをしなければいけない。生活弱者・高齢者・障がいを抱える方の窓口での申請手続きに手間のかかることだと思うがいかがか、見解を伺う。 (2) 介護施設・特別養護老人ホーム等の利用者についても具体的な方策を示さなければ現場は混乱すると予想される。対策が早急に必要と思われるが、どのように考えているのか伺う。 (3) 生活弱者・高齢者・障がいを抱える方にとって、現行の健康保険証の継続こそが不安払拭につながると思うが、見解を伺う。</p>
3番	角田 広佑 (一問一答方式)	<p>1 豪雪時の災害対策と広域連携について 【質問のねらい】 毎年豪雪と暴風雪に見舞われる当別町において、交通網が寸断するという事態に陥った際の、町としての災害対策、方針について伺う。</p>

		<p>【質問項目】</p> <p>(1) 道路の通行止め、鉄道の運転見合わせが発生し、町と隣接する市町村との交通が遮断された際に、当別町としては避難所として庁舎を開設したが、逆に帰宅困難者となった町民（特に高校生など）の数を把握しているのか。</p> <p>(2) 冬場に帰宅困難者が発生した場合、生命の安全を守るために一時避難所の開設が必要と考える。金銭的に制限がある高校生や大学生など、一般の宿泊施設に泊まることが困難な町民を保護するため、「さっぽろ連携中枢都市圏」構想を活用した連携が想定されるが、どう考えるか。</p> <p>2 太美駅前、当別駅前の円滑な交通環境の整備について</p> <p>【質問のねらい】</p> <p>太美駅、当別駅に接続する道路について、現在対面交通となっている。誤認者の発生や冬季のすれ違い困難の事例も聞く。一方通行化の検討について問う。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 冬季においては広場への置き雪により前方視界が不良で、バスのすれ違いが困難になる事例も発生した。当該道路について円滑な交通を資する目的で、一方通行化するべきでは。</p> <p>(2) 同時に当別駅南口前についても、形状はロータリーであるが、現地には一方通行の標識も進入禁止の標識もない。形状としてもロータリーと認識できる構造である。太美駅同様、円滑な交通を資する目的で、一方通行化にし、明確にすべきでは。</p> <p>3 災害時の指揮機能を完備した庁舎新築移転について</p> <p>【質問のねらい】</p> <p>築 50 年を超え、移転が急がれる庁舎移転について、昨今の地震が増えているなか、災害対策拠点機能を完備した新庁舎建設について問う。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 当別断層の断層破壊に起因する地震が発生した際、現在の庁舎に甚大な被害が起きることは明らかである。この点を鑑みても、庁舎移転について迅速な計画推進が必要であると考え。今後の計画プロセスを問う。</p>
4 番	櫻井 紀栄 (一問一答方式)	<p>1 歩道の整備計画について</p> <p>【質問のねらい】</p> <p>道路整備・修繕は限られた予算の中で優先順位をつけざるを得ず、歩道については緊急度の高い応急処置の修理程度しか行えない状況にある。また、所管する建設部では除排雪費の比率が高く、これらの整備の優先順位は低いため、歩道全体の整備計画は未だにない。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 整備方法について、道路整備にあたっては、限られた財源のなか優先順位をつけざるを得ない状況であるが、これまで歩道や車道の修繕・整備はどのような基準で優先順位の判断をしてきたのか。</p>

		<p>(2) 歩道の改善修繕箇所の情報収集方法はどのように行われてきたのか。</p> <p>(3) 道路の修繕や整備にあたって、車道と歩道の優先順位を同水準として必要な対策をすすめていく必要があると考えるが、どうか。</p> <p>2 通学路の防風対策について</p> <p>【質問のねらい】</p> <p>とうべつ学園北側の通学路である稲穂通りの吹きさらしの風は、特に低学年の児童にとって厳しい環境である。保護者や地域住民と学校、教育委員会が、通学時における防風対策を含めて、今後も生じるであろう様々な課題について意見交流の場を設け、継続的に協議する環境を整えていくことが必要ではないか。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 現状把握について、特に低学年の児童も通ることを踏まえて、通学路の強風を防ぐ対策を検討する必要があると考えるが、教育委員会としてはどのように認識されているのか。</p> <p>(2) 開校以来の悪天候時に教育委員会やコミスクが現地での児童の通学状況を確認したことはあるのか。</p> <p>(3) 相談を受け入れる体制はできているかもしれないが、保護者や児童からの声を主体となって聞く機会はあるのか。</p> <p>(4) 課題解決にむけて、保護者や地域住民と学校、教育委員会が、通学時における防風対策を含め今後も生じるであろう様々な課題について意見交流の場を設け、継続的に通学路の問題を協議する環境を整えていくことが必要だが、どう考えるか。</p>
5 番	五十嵐 信子 (一問一答方式)	<p>1 ふれあいバスのバス停留所移設について</p> <p>【質問のねらい】</p> <p>以前より、あいの里の住宅街にバス停が設置されているが乗降者が少ないとの意見がある。JR あいの里公園駅前もしくは病院付近に1ヶ所バス停があると利便性が高まる。データなどを取り、移設の検討が必要ではないか。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 西当別地区に開業されたスウェーデンヒルズ耳鼻咽喉科前にもバス停が設置され便利になった。バス利用者の増加を目指して、利便性が高まる場所へ移設をすべきと考えるが伺う。</p> <p>(2) 札幌市において、当別町のバス停移設に伴う問題や課題はどのようなことが考えられるのか伺う。</p> <p>2 福祉と教育との連携について</p> <p>【質問のねらい】</p> <p>幼児・児童生徒において発達障害や障害のある子どもたちへの支援や、不登校・ヤングケアラーへの支援も、特定の担当部署だけではなく切れ目のない連携と心が通い合う相談体制が重要である。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 文科省・厚生労働省より各自治体へ「家庭と教育と福祉の連携」についての通知がなされているが当別町の見解と、現在までの取り組み状況を伺う。</p>

		<p>(2) 今年度よりスクールソーシャルワーカーの配置が実現し活躍を期待している。初年度はどのような課題をもって取り組んでいるのか伺う。</p> <p>(3) 教室以外で子供たちが安心して過ごせる居場所が必要と考える。せめて学習面においてはタブレットを有効活用し zoomなどで授業を受けられる方法も考えてはどうか。見解を伺う。</p>
6番	佐藤 立 (一問一答方式)	<p>1 ファミリー・サポートシステムの対象拡大 【質問のねらい】 子育て中の町民からは、妊娠中や保護者の体調不良時などの家事支援や、町外への送迎、中学生の保護者の利用など、対象サービスの拡充を求める声がある。 そこで、ファミリー・サポートシステムの対象拡大について伺う。 【質問項目】</p> <p>(1) ファミリー・サポートシステムを利用できる対象を、妊娠中から中学3年生(9年生)までの子どもを育てている家庭へと拡大できないか。拡大するにあたっての課題があれば併せてご説明願いたい。</p> <p>(2) ファミリー・サポートシステムの援助活動に、妊娠中や保護者の体調不良時などを含め、家事支援を追加できないか。追加するにあたっての課題があれば併せてご説明願いたい。</p> <p>(3) ファミリー・サポートシステムの援助活動に、町外への送迎が含まれていない理由はなにか。また、町外への送迎を可能とできないか。可能とするにあたっての課題があれば併せてご説明願いたい。</p> <p>(4) これらの対象拡大等を行うにあたって、当別町が追加で負担する費用はどの程度となると見積もられるのか。具体的な積算根拠を含めご説明願いたい。</p> <p>2 就学援助費(クラブ活動費とオンライン学習通信費) 【質問のねらい】 就学援助の趣旨を踏まえ、未実施の項目についてその理由を問う。 【質問項目】</p> <p>(1) クラブ活動費、オンライン学習通信費、通学費を就学援助の対象としていない理由を、それぞれ具体的に説明ねがう。あわせて、実施する場合に必要とされる概算予算額を説明ねがう。</p> <p>(2) まずはクラブ活動費、オンライン学習通信費を就学援助の対象とする考えはないか。</p>
7番	山崎 公司 (一問一答方式)	<p>1 JR駅周辺の再開発と人口減少対策 【質問のねらい】 町を活性化する為にも駅周辺の賑わいづくりの再開発が重要で現状の3駅の進捗状況を質す。 【質問項目】</p> <p>(1) コンパクトシティの促進として立地適正化計画に基づき駅周辺 JR当別駅：複合ビル・庁舎の動向、太美駅：『生涯活躍のまち』(CCRC) 構想ロイズタウン駅：今後の開発プラン これらの駅周辺の再開発・開発の現状の進捗状況を伺う。</p>

		<p>(2) 利便性・活性化により、20年続く土地価格下落に歯止めをかける必要があるのではないか伺う。</p> <p>(3) 人口減少対策として、移住促進に向け新築住宅支援金制度が順調に進んでいる。制度がスタートして、これまでの申請状況と実際に移住者からの声を聴取する機会などは設けているのか伺う。</p> <p>2 学校給食に健康志向に特化したメニューの導入を</p> <p>【質問のねらい】</p> <p>食育推進事業の強化と学校給食に体力向上・健康管理の観点から、健康志向に特化したメニューの導入を提案する。たとえば子どもの頃から適切な食塩摂取を意識した食生活を身につけることで、生活習慣病予防と健康寿命の延伸につながると思うがその必要性を質す。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 健康まちづくりの一環として健康志向に特化したメニューの導入が実現出来ないか伺う。</p> <p>(2) 給食の食べ残しをしないようにどのように指導しているか。又食べ残し分はどのように処理しているか伺う。</p> <p>(3) 給食を通した食育について家庭との意識調査を実施してはどうか伺う。</p>
--	--	--

【計7人、3時間30分（1人30分計算）】